

## 第 14 回 100 年史誌部会 議事録

日時：2007 年 4 月 25 日(水) 16 時～

場所：第 1 応接室

出席者：横山部会長、小室、金子、松田、小池、山崎、小山、大町、高畑、赤平、神戸、片山各委員

### 【配付資料】

[資料 14-1] 百年史編集局保管資料台帳

[資料 14-2] 山形大学工学部 65 年史、山形大学工学部 50 年史（既年史内容対応表）

[資料 14-3] 工学部通史目次案の具体的検討

[資料 14-4]-1 山形大学工学部 50 年史年表

[資料 14-4]-2 山形大学工学部 80 年史年表

[資料 14-5] 2006 年度 Journal 作業部会まとめおよび Journal 基本方針、構成概要および  
2007 年度業務内容

### I 報告事項

1. 山崎委員から、総務部会ならびに、実行委員会に関する報告がなされた。
2. 資料の収集ならびに業績化に関して、史誌の業績化は学内の理解が得られていないことから、今後の検討課題となった。この件に関して、募金部会も苦戦しており募金の苦勞にも報いる、史誌執筆も今後具体的に検討する。
3. 本部会の名称を 100 年史誌部会に変更することが了承された。
4. 渡辺総務部会長より現在順調に進んでいるのは史誌部会であるとのコメントを頂いた。
5. 資料収集に情報の公開にかかわる件に関して、学内にクローズするので、自由に集めて良い。学外に出すときに問題となるだろう。後日ケースバイケースで考える。
6. 統一的な依頼書、願い書が必要であれば、金子まとめ(リスト作成)、今後集めてもらう。

### II 協議事項

1. 100 年史
  - 1) 小室編集局員より、いろんな資料が入ってきて整理がつかなくなることを怖れて保管資料台帳を作成した旨報告がなされ、[資料 14-1]に基づき説明がなされた。また、資料があったらコピーでも良いので提供しよう要請がなされた。
  - 2) 小室編集局員より、既に発刊された 50 年史、65 年史、80 年史を基に年史内容対応表を作成した旨報告がなされ、[資料 14-2]に基づき説明がなされた。
  - 3) 小室編集局員より、目次案の具体的検討について[資料 14-3]に基づき説明がなされた。
  - 4) 50 年史、80 年史年表の電子化について、現在、齋藤ひろみ編集補助員が 50 年史と 80 年史年表を合体させている途中である旨、報告があった。
  - 5) 各学科、専攻、ユニット史について協議を行なった。
    - ・ 方針が決まらない学科では、まず年表から学科に関連するところを抜き出して学科史を作成する。その後、資料を点検、各先生方の所有している歴史的資料の提供を呼びかける。また、名誉教授などに訪問したり、手紙でお願いする。
    - ・ 部局史の具体的な内容に関しては、例えば東京大学の 100 年史などが web でも閲覧できるので、イメージを固める参考になる。
    - ・ 生体センシング機能工学専攻は、設立計画書を始め資料についてはほぼ全て残っている。現在目次案を検討中である。設立当時からいらっしゃる和泉先生に執筆を依頼したい。

- ・電気電子工学科、情報科学科、応用生命システム工学科は一括して扱い、オーム会誌、オーム&ビット会誌を参考にまとめていく予定である。
- ・ページ数に関して、総務部会・実行委員会には250～500ページと報告しているが、実質ページ数に関する制限は無いものと考えて進める。
- ・記述の書式は自由とする。
- ・共通講座では現在、内容は検討中。設立当初からいらした菅野幹夫先生や中村先生に享禄をお願いする方向でいきたい。
- ・ユニット史に関して、目次は片山さんか赤平さんに作って頂く。書き込む内容を決めて欲しい。資料の検索や執筆はOBに協力をお願いする。
- ・小木曾さんにもう一度、部会に参加してもらって、業務として参加してもらう必要がある。事務ユニットの業務は、執筆と資料の収集に加え、部会員や編集局員の要請に応じて資料を準備することも含む。必要であれば、横山部会長から事務のユニット長に直接依頼を行なう。

## 2. 100年誌

### 1) 松田 Journal 班長から、[資料 14-5]に沿って説明があった。

- ・記録写真は自分たちでもできそうだけれど、イメージアップの写真などはプロにお願いする事を考えたほうが良い。
- ・季節の写真が必要である。一年かかるから早めに依頼する必要がある。
- ・写真は重文2階にある資料も役立つそうである。業者に依頼して写真も電子化したい。
- ・2章の「山形大学工学部のあゆみ(資料編、記録写真、図表)」は100年史のデータが使えるだろうが、Journal 班独自の編集で構成したほうが良い。
- ・渋間さんや高橋みさとさんなどデザインのトレーニングをうけている人や写真の鈴木孝制さんにも協力をお願いしたい。
- ・松田先生の構成案をベースにプロの目(ぎょうせい担当者)から修正を加える。
- ・現在、依頼する業者に関しては単年度で契約する形であるが、複数年にわたるプロジェクトであるため、途中で業者が変更する事態をなるべく避けるようにする。
- ・発注については横山先生、松田先生、Journal 班、事務方が加わり決める。
- ・齋藤ひろみ編集補助員にwebサイトを構築して頂き、資料の収集に努める。

## III 今後の予定

1. 次回の会議は5月30日(水)の16:00から、第一応接室にて開催を予定する。欠席する委員は学科史・専攻史・ユニット史に関する資料を提出していただく。